

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 3 年度第 2 回</p> <p style="text-align: center;">富士見市公民館運営審議会(鶴瀬地区)</p> <p style="text-align: center;">議事録</p>						
日 時	令和 3 年 1 1 月 2 4 日 (水)		開会	午後 7 時 0 0 分		
			閉会	午後 8 時 3 0 分		
場 所	鶴瀬公民館 いきいき活動室					
出 席 者	委 員	神木委員	長ヶ原委員	小谷委員	小林委員	
		○	○	○	○	
	事 務 局	鶴瀬公民館長、南畑公民館長、水谷公民館長、水谷東公民館副館長、鶴瀬公民館副館長				
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者なし)					
議 題	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 「公民館学級講座等の開催方法・内容」について (2) 「施設維持管理」について 4 事務連絡 5 閉 会					
議 事 内 容						
(1) 「公民館学級講座等の開催方法・内容」について (2) 「施設維持管理」について ～事務局説明～ 議長 ・コロナになる前の令和元年度と令和 3 年度を比較すると中止になった事業、あるいは人数が少なくなっている事業、特に一番人手が多い、子どもフェスティバルや公民館まつりなんかですと 30,000 人近く人が集まった事業が 0 人となった事業もあった。その中でもなんとか工夫してできないかといった事業もあり、人数が少なくなっても実施してきた事業というのは重要だと思います。 中止してしまえば、公民館を閉館してしまえば、コロナ対策としては簡単なことではあるけれど、それは公民館にとっては自己否定みたいなものであり、基本的にはどんな工夫をして事業をできるだけ進めていくのかが必要だと感じる。						

公民館まつりが中止になったことは地域住民との交流が失われていく事につながる。まさか衆議院選挙とぶつかるとは思わなかった。

委員

・2年間我々はコロナに苦しめられているのですが、公民館の事を考えると、ますます必要だと感じる。今まで培ってきた信頼関係があるがどうやって継続させていくのか。このままだと公民館活動がしぼんでいってしまう。若い人は参加しやすいようにWEBを利用した会議もいいのかもしれないが、年寄りには機器を持っていない人も多い。参加したくても参加できない年寄りも出てきてしまう。公民館で人間関係を築くといっても、WEB会議だけでやってしまうと話すことが苦手な人も出てくる。学生同士の話でも違う意見を持った学生は引っ込んでしまう。学生生活でも2年間もWEBだけでやってしまうと話すことが苦手な人も出てくる。コロナ禍では若い先生もこういった状況を変えていかないと対面での授業を残していかないと必要なものは残していかなくてはならない。

委員

・公民館にはいろいろな方が来る場所で公民館は安全な場所である事を周知してもらいたい。また、オンライン環境は早く整備し、対面でもオンラインでも選べる状況を作ってもらいたい。オンライン配信環境を整備したうえでそれに必要な機器も用意して、使うか使わないかという事を選択できるようにしたほうが良いと思う。ハイブリットな環境の整備が必要。

R4はイベントなどは今後、市で普通にやっていく事となるのではないか。

館長

・県でイベントの規制緩和があったようですが、市は今のところ出ていない。来年度は50周年事業の準備もしてきており、対面での開催事業は今後増えていくのではないかと思います。

委員

・学校行事も最近どんどん動き始めている。

委員

・2年生の母親は全然行事の事がわかっていない人が多い。

委員

・若い人が参加できるようにしたい。若い人を取り込むための事業として、子育てサロン系の事業ですとか学習系の事業をどんどん取り入れてほしい。

議長

・講座や講演会等、家にいながらパソコン等を使って30人いるなら双方向で発信できるZOOM等があれば受講生と講師でやりとりできる。聴きたい講座があるけれど仕事で来れないような人には、録画したデータがあとで見ればよい。どこまで可能か?どういうイメージであるのかを示したほうがよい。

委員

・講師がいて、大学の授業のようにある場所で講師をしながら尚且つその授業を家にいてもみれるようにすればいいがその設備はあるのか?

委員

・公民館に行けない方の為にライブ配信のような受け皿があれば、いいのではないかと思います。

委員

- ・双方向での参加ができるようにしたほうがよい。
- ・双方向がむずかしいのであれば、そこは ZOOM でやればよい。

議長

- ・相手の顔が見れたうえで双方向に質問ができるのが理想。
- ・片方向なら YOU TUBE で 1 時間程、録画したものを流せばよい。

事務局

- ・YOU TUBE ですと 8 分か 10 分単位で CM が入る。(視聴 10000 超えると)

事務局

・残念ながら、リアルタイム配信できる設備はありませんし、公民館では Wifi 環境もありません。双方向でリアル配信するには必要な機材等もあり、公民館としては、今後調査・研究していきたい。

議長

・できない事を言うのではなく、予算がついて、必要な機材もあって、役所として問題ないのであれば、積極的な部分を出して行ってもらいたい。

事務局

・おっしゃるとおりで、予算がついて、必要な機器もあって、Zoom 等で参加している方々を画面に映しておけるような仕組みを皆が望む最終的な形にしていければよいと思う。

議長

・3 年、5 年かかったとしてもみんなの意識として公運審のメンバー、公民館職員も同じなら要望として公運審として最終的に教育長に挙げていく事が必要だとおもう。

委員

- ・パソコンがあって、地域でみんなで一緒にやっていくのはいいことだと思う。法的にダメなら変えていけばよい。

議長

- ・学校は通信環境は整っているのか?

事務局

・学校有線 LAN は整備されていて各教室への Wi-Fi 環境は整備されている。学校は整備されていますが各家庭には Wi-Fi 環境が整備されていない家庭もある。そういう子供たちには、Wi-Fi が整備されれば公民館に来ていただいて利用してもらいたいと思っています。

委員

・学校にはそういう子の為の教室があって、宿題等やっているようだけど、これからは当たり前のように平等な学習環境の為にサポートして行ってほしい。

(2)「施設維持管理」について

議長

・今後の反省を踏まえて検査パッケージを公共施設でやるのは難しいと思う。全員が接種していない中で、未接種者を排除することはできない。PCR 検査とセットでやっていくというのは、検査自体無料ではない事からも難しい。また、有効期限もあり、行事の都度にやっていたらきりがなくなる。

委員

- ・お互い思いあって、感染者対策していくのが必要。
- ・それぞれ自主的にコロナ対策をしてもらい施設側からは検温・マスク・消毒等のお願いをしていくしかない。

議長

・公共施設で考えた場合、ワクチンパスを持っているか持っていないかで施設利用を考える事はできない。公の施設として安全対策をし、利用者にとって安心・安全に利用できるようにしてほしい。また、夜間利用あたり、外が寒い事から換気の部分では30分に1回の頻度では寒さがきになる。マスクはしていますが。

委員

・注意喚起はしているけれど、皆さんワクチンは打ったし、感染者も少ない事からマスクをとっている人がいる。ちょっとした気の緩みだと思うが、今後緩和されていく中で、公民館として丁寧に説明、お願いをしていく必要がある。

議長

・公民館はいろいろな人が利用している。代表者がしっかり理解して、メンバーに伝える必要がある。施設側はブザーを鳴らしたり、数字で知らせたり換気のタイミングがわかるようにしたほうがよい。

委員

・その仕掛けを公民館につくってもらい、公民館はうるさいといわれてもその環境づくりをしたほうがよい。

議長

・公民館が感染源になると利用停止になることを利用者には知っていただく。人数制限にしても知っている人は知っているけれど、利用者全体で見ると知らない人もいる。そういう人たちには（感染対策）見える・聞こえるようにしていく必要がある。

委員

・国や県も対策は立てていますが公民館としてやっていかなければならないものをいくつか対策を立て、それを周知徹底し、代表の方だけでなく、メンバーの方にもなあなあとになっていく部分は引き締めてしっかりやっていく事で公民館活動は保障されるのだと認識してもらおう。

小学校は突き当りの教室での感染が増えている。換気は大事である。

委員

・感染防止対策として引き続き取り組みを続けていく気運を高めることも必要。

館長

・空気清浄機を入れたり等の手法はありますが、やはり利用者の意識を変え、継続していく事が大事になる。

議長

・それ自体はお金のかかる事ではないので、利用者には理解してもらい、納得した上で利用してもらおう。慣れてくると、もういいかとなるので、そうならないようにしたい。

まとめについて

～事務局説明～

委員

・前回出たような形で列挙していく。

議長

ある程度要旨をまとめたうえで各項目ごとに箇条書きとしていく。